

令和6（2024）年度 第3回柏崎市地域公共交通活性化協議会（書面協議結果）

令和6（2024）年7月31日付け柏交協第11号で実施した書面協議の結果を下記のとおり報告します。

記

1 書面協議における議事

A I 新交通あいくるの運行区域の拡大について

2 書面協議回答数

20名（委員数は21名）

3 書面協議結果

1に掲げる議案について、回答者全員が承認しました。

また、次のとおり意見がありました。

<意見>

(1) 運行区域の拡大によって利用者が便利になることは良いことだと思います。

ご存じのとおり、当社の運転士不足はかなり深刻であり、現状のダイヤの本数を減らさない限りは、あいくるの増便には対応できません。運転士がいなければ拡大もできません。運転士を確保する意味でも、減便（今のダイヤ）することが先決と考えます。

(2) 運行区域の拡大や運行車両の台数の増による利便性向上が期待される一方で、既存のバス路線、曾地線などがどうなるか気になりました。

また、拡大に伴う収支見通しが出ていましたら、ご教示いただければと思います。

<回答>

(1) 路線バスを始めとした公共交通の運転士の確保の問題が年々、深刻化していることは、貴社を始めとした交通事業者様との意見交換等により承知しております。この運転士不足に対応するため、これまでも貴社との協議により、下表のとおり、利用の少ないバス路線を中心に減便や廃線がなされてきました。その結果、当市の公共交通の利便性は著しく低下したことから、その対応策として、A I 新交通あいくるを新規運行したものであることを改めて御理解くださいますようお願いいたします。

現在、貴社が直面している運転士不足の問題については、引き続き、当市も一緒に考えてまいりますので、何卒、よろしくようお願いいたします。

【1日当たりの路線バスの運行本数（平日）と廃線となったバス路線】

	路線バス運行本数 (平日)	廃線となったバス路線
令和2年度	202本	
令和3年度	193本	<ul style="list-style-type: none"> ・赤坂山公園線（～R4. 3. 31、新潟病院線と統合） ・米山台福祉センター線（～R4. 3. 31、新潟病院線と統合） ・妙法寺線（～R4. 3. 31、区間廃止）
令和4年度	174本	<ul style="list-style-type: none"> ・谷根線（～R4. 10. 31、区間廃止）
令和5年度	147本	<ul style="list-style-type: none"> ・宮平北線（～R6. 3. 31、全区間） ・新潟産業大学線（総合医療センター経由）（～R6. 3. 31、全区間） ・出雲崎車庫前線（～R6. 3. 31、区間廃止）
令和6年度	128本	

(2) (1)の回答に関連しますが、公共交通の運転士が不足していることから、今後、さらに運行の効率化を進めていく必要があります、ますますAIオンデマンド交通の重要度が高まるものと捉えております。路線バスの曾地線についても、あいくるの運行区域の拡大に際しては、利用実態を踏まえて運行本数の見直しを行う必要があると考えております。

また、運行区域の拡大に伴う収支の状況につきましては、運行開始から本年6月末までの収支率（運賃収入／運行経費）は22.7%であり、当初の想定していた12%程度を大幅に上回っているところではありますが、区域拡大後も大きな変動はないと見込んでおります。

区域拡大に際しては、運行車両の増台を予定していることから、運行経費は当然増加いたしますが、国庫補助の活用を検討するなど、当市の財政負担の縮減に努めていく考えであります。